

ザ・恋愛結婚への道
02光、等に紹介される
概要からシナリオまで

20241004

エリー



—

目次

概要

概要	3
企画書	6
汎用ストーリー構成	12
設定 01 世界設定	18

キャラクター

キャラクター「神崎光」	25
キャラクター「水井等」	27
人物表	29

シーン詳細プロット

1、三者面談	33
2、広告代理店	36
3、海水浴 1節増やした	38
4、BBQ	40
5、提案	43
6、バイト初日	46
7、イベントの企画	49
8、社長の息子	52
9、打ち明け話	55
10、遊園地占い師猫又	58
11、プレゼン	61
13、夢の形	63
修正 4つ	66

シナリオ

1、三者面談	69
2、職場体験	71
3、海水浴	74
4、BBQ	75
5、提案	78
6、バイト初日	80

7、イベントの企画	83
8、社長の息子	84
9、影響力	86
10、遊園地占い師猫又	87
11、プレゼン	90
12、クリスマス	92
13、夢の形	94

概要

概要

コンセプトセンテンス 100 字以下 35

人付き合いが苦手な光が、影響力のある立場になり、人間関係に取り組む話。

各項目でやりたいことの優先づけ 1～3

1、職場体験で記者、編集者の適正はない。DTP なら有り言われる。

→友だちと BBQ したことないです。

2、クラスメイトと等の家で BBQ する。

→クラスメイトに彼女と紹介される。

→光の様子を見ていて、「社長夫人には向かない」と等の父が言う。

→父の話を等が光に言う。

→決断した光が、「正社員として就職を希望する」

3、等の彼女とわかって利用しようとする人に対処する。

→真鍋さんに頭が上がらない北村店長が、「光さんはどうおもう？」と巻き込んでくる。

→対立が鮮明化する

→遊園地占い師猫又が、アドバイスする。人生の課題。

→丸く治めるために、自分のアイデアを企画書にまとめて、チラシも作り、プレゼンする。

ストーリーアブストラクト

200 から 300 字 300

高3になった光は夏休みに地元の広告代理店で職業体験する。しかし希望の記者では採用できないと言われる。

光の話聞き「俺の家でクラスメイトとBBQしよう。彼女として紹介したい。両親とはあったことがある。BBQには参加せず、ベランダでコーヒー飲みながら見ている」という。

BBQのあとで、等が両親と話す。

等が父の話を光に言う。

等の父が経営する喫茶ムーンライト10号店でバイトすることになる。

高2だから。

居酒屋のバイトはやめる。

キッチン担当になり、よく働く光はみんなから可愛がられる。

正月に等が、様子を見に来て、彼女と言う。

店長が、バレンタインイベントについて「光さんはどうおもう？」と聞くようになる。光は答えられない。がっかりされる。

真鍋さん「光さんはもっと意見がある人だと思っていた！」
あるけど言えない。

猫又に占ってもらう。人生の課題を諭される。

光が間に入って、店長と真鍋さんの話し合いが行われる。

光の企画書と手書きのチラシを見て、乗ってくる。

→みんなのアイデアを取り入れてまとめたものだから。もちろん光の考えも含まれている。

真鍋さんと北村さんは和解する。

→みんなで協力してイベントが成功する。

光さんは、ムーンライトの正社員として採用される。

副社長候補として、広報を担当することとなる。

企画書

0、タイトル

ザ・恋愛結婚への道

02 光、等に紹介される

1、媒体・メディア

ブログで無料公開

2、企画意図（箇条書きで）

記者に採用されない光が、欠点を克服する。

3、いちばんやりたいこと（テーマ・メッセージ・主張）

自分らしさより職場では影響力を持つことが大事。

4、世界観（ギミック・舞台設定・世界設定）

職場の人間関係

5、セールスポイント

人間関係の作り方

6、ターゲット

内気な人

7、主要人物（キャラクター）

神崎光 (かんざきひかり)

水井等 (みずいひとし) 光の彼氏

水井上司 (みずいかみじ) 等の父

水井十愛 (みずいとあ) 等の母

真鍋伊佐子 (まなべいさこ) 光の教育係、バイトリーダー

北村要 (きたむらかなめ) 青年店長

8、全体あらすじ（プロット）667

高3になった光は、商品紹介をするライターになりたい。地方の小さな広告代理店の正社員の面接を受ける。しかし、不合格になる。

面接で「BBQではなに係？」と聞かれて、「友だちとBBQしたことないです」と答えたから。「人付き合いが苦手な人は、ライターに向かない。正社員はもちろん、フリーランスでも。悪いことは言わないから性格を変えるか、仕事を変えなさい」と言われる。

落ち込んだ声の光に等が駆けつける。「クラスメイトを呼んで、僕の家でBBQしよう。友だちにも、両親にも、光さんを彼女と紹介したい」と提案される。

等が指示を出して、役割分担して、BBQは盛り上がる。

友だちも好意的に受け入れてくれる。

クラスの女子はつんけんしている？

しかし、光の動きを見ていた等の両親は、結婚相手にふさわしくないと言う。好意的な人としか、話せないから。

両親から「光さんが、対立している店を一体化できたら結婚を認める」と言われる。

光は高2の9月から新人バイトとして働く。

店名「ムーンライト10号店」

教育係の真鍋さんにビシバシ鍛えられる。

頑張りを認められて、バイト仲間と仲良くなる。

ミッドポイント

等が様子を見に来て、彼女だと紹介される。

真鍋さんが、店長を相手に自分の意見を通したい時、「光さんも賛成よね？」と巻き込んでくる。

光はどうしていいか、分からない。

光は、猫又のところに行く。どうしたらいいか占ってもらう。

自分から挨拶して、相手の調子を聞いたり、コミュニケーションをとるようになる。

店長を尊重しつつ、バイトの意見もしっかり伝えて、目標を共有するようになる。支援型リーダーになる。

店を一体化したことで結婚を認められる。

9、醍醐味（新規性・独自性）

影響力のある人の孤独を知る。

汎用ストーリー構成

○オープニング

1 登場（主人公は父を勇者に持った青年）

主人公について書く

高2になった光は、三者面談で就職を希望する。

光も、等も就職希望！

光は広告代理店に

等はコーヒーの産地ハワイへ

2 背景（人類は魔王軍と一進一退の戦いをしている）

世界設定を簡潔に示す

地元の広告代理店で、職業体験を夏休みに1週間する。

3 発端（魔王軍の大攻勢により父の勇者が落命）

異変・事件を起こす

クラスメイトを読んで、等の家でBBQをする。

4目的（勇者を失った人類は存亡の危機にさらされる）

問題や課題を明確化する

BBQの後で、等から等の父の話で危機、ムーンライトで10月からバイトすることに。

5初動（主人公は父の後を継ぎ勇者として魔王討伐へ）

問題がある店と言われて覚悟して来たが、何が問題なのか分からない。

→店長が孤立している。

【つかみ終わりポイント】

6 障害（主人公は実力不足で苦戦を強いられる）

行動させて試練にぶつけさせる

クリスマスイベントの企画で、店長とバイトリーダーが対立する。

7 助力（師匠との出会いで修行をつけてもらう）

ヒントや助けを得させる

外国にいる等に相談する。

等「最初は、話を聞ける関係をつくることだよ」

→心配して後から店に来る。

→俺が行くまで頑張る。

8 達成（勇者の資質が開花しパワーアップする）

成果と成長を実現する

クリスマスを乗り切る。

9 難問（ジリ貧の人類は中枢を叩く作戦に出る）

新たな問題を発生させる

お土産を持ってきた等が店に来る。マカダミアナッツ！
光にはお揃いの指輪もプレゼントする。
彼女と認める。

10 無援（勇者一行は魔王軍支配下の土地へ侵攻）

助け無しで苦境に挑む

店長が、光に悩みを打ち明ける。

11 窮地（人類側の支援を受けられぬ苦闘が続く）

危機と絶望を味わわせる。

バレンタインイベントについて「光さんはどうおもう？」と聞かれるが、なにも答えられずがっかりされる。

12 光明（父勇者が残した魔王討伐の秘策に気づく）

逆転の起死回生の一手を示す

冬休みに猫又に占ってもらう。

人生の課題を論される。

【たため初めポイント】

1 3 勝負（魔王の居城での最終決戦に臨む）

最終課題と対決・対峙させる

イベントについて、光の進行で真鍋さんと店長が話し合う。
企画書にみんなの意見をまとめてコンセプトを作り、手書きのチラシも作る。
自分の主張もするが、周りの意見も聞く。

1 4 結末（仲間と力を合わせて魔王を撃破）

決着と結果を示す

みんなでイベントを成功させる。

1 5 閉幕（戦いで荒んだ土地の再生に従事するため新たな旅へ）

おまけで後日談を書いてもいい

光が、ムーンライトの正社員となり、広報を担当することになる。

等がますます惚れる。

光さんはどこにいても、なにをしても、夢を実現するんだね。

光はよく分からないけど褒められてるらしいと思う。等にイラスト書いてほしいという。

美術が得意だから。

設定 01 世界設定

○舞台

時代

現代

場所（惑星、大陸、海、島）

日本

自然環境

湖と海

国、地方、町、村

浜松、豊橋、名古屋

施設

喫茶店「ムーンライト」

○属人設定

仕事、影響力を持ち、支援型リーダーになる

社会構成、店長とバイト

技術・知識、目標を定めて一体化させる

○事情設定

出来事、職場体験で欠点を指摘される

イベント、クラスメイトと両親に彼女と紹介される

ハプニング、社長の息子の彼女と知って、店長が利用しようとしてくる。

○特筆設定

問題点・課題、影響力を悪用されないようにする

欠陥・欠点、光は好意的な人しか話せない

コンセプト設定

○ストーリーコンセプト

テーマ、影響力を手に入れたら、壁の花ではいられない！

主張、使われる側から抜け出すには、影響力を持つことは避けられない。

メッセージ、影響力を持ってしまったら正しく使え

お約束、婚約する

語り口・語り方、光視点

○特筆コンセプト

恋愛して好きな人を選べば、合わせたり、無理したりすることになる。

○雰囲気コンセプト

明るい雰囲気

シリアスでいく

愛されキャラ主軸

笑わせる方向

キャラクター

キャラクター「神崎光」

○イラスト・写真（ビジュアル。脳内イメージ）

黒髪姫カット、黒ぶち角メガネ

○ストーリー（エピソード1、2、3と優先順位つける）

職業体験で、厳しいことを言われ、記者をあきらめようとする。

何がダメなのか、等に説明されて、知る

欠点克服のために、等の家業の喫茶店でバイトする。

○設定

基礎設定、160センチ

外見設定、黒髪姫カット、黒ぶち角メガネ

性格設定、一人でも挑戦する。

能力設定、文章を書くことが得意。

テーマ1～3、セントラルクエッション（対立、葛藤ポイント）1行

から

メインテーマ 300 字。

一人でも行動できることは長所だが、欠点でもある。周りとの目的を共有して、協力できないから、影響力のある立場になれない。

欠点を克服してでも等と結婚したいか？

キャラクター「水井等」

○イラスト・写真（ビジュアル。脳内イメージ）

銀髪のハイドさん

○ストーリー（エピソード1、2、3と優先順位つける）

子どもの頃から父に同行して社長修行をしている。

ハワイのコーヒー農園で、ライバルに情報を抜かれそうになる。

家は浜松だが、ゼロから友だちを作るように父に言われて豊橋の豊ヶ丘高校に入って、光と出会った。

光と1年付き合っ、結婚を意識する。一緒にいるためには光が夢を変えるしかない。光の自由は奪いたくないが、別れたくない。

○設定

基礎設定、162センチ

外見設定、長めの銀髪。銀のネックレス。

性格設定、バランス、調整が得意。自分がない気がして、光にひかれる。

能力設定、コミュ力が高い。言うべきことをきちんと言う。する。

テーマ1～3、セントラルクエッション（対立、葛藤ポイント）1行

光さんの就活が成功してほしいが、同じくらい家業の喫茶店で働いてほしい。

父に「別れる結果になっても、彼女のためになることをしてあげなさい」と言われ、光に提案する。

から

メインテーマ 300 字。

職業選択の自由より、一緒にいけることを最優先したい。光さんにも自分を選んでほしい。

人物表

神崎光 (かんざきひかり)

水井等 (みずいひとし) 光の彼氏

水井上司 (みずいかみじ) 等の父

水井十愛 (みずいとあ) 等の母

真鍋伊佐子 (まなべいさこ) 光の教育係、バイトリーダー

北村要 (きたむらかなめ) 青年店長

光の母

神崎灯、女

かんざき あかり

光の父

神崎則夫

かんざき のりお

バイト A、高2女子、谷口広子

たにくち ひろこ

バイト B、高1男子、手代勇気
てしろ ゆうき

シーン詳細プロット

1、三者面談

内容を一言で書く。(登場人物)が(どうなる・どうする)

高3になった光と等は、進路を確認するため、三者面談をする。

具体的な内容(200文字~400文字程度)

夏休みに

光は、記者になりたいので、広告代理店に職業体験する。

等は、父親のカバン持ちで、ハワイのコーヒー農園に挨拶に行く。

このセクションの、必要性を説明するなら? 魅力を伝えるなら?

夢が違うから、別れてしまうのか?

4W1H

○いつ,when

高3の7月

○どこで,where

学校で

○なぜ,why

進路を決めるため

○なにを,what

三者面談を

○どうする,how

光と母親と担任です。

who を配置する

誰を配置する？

光

光の母

青年教師

ドラマ (起伏) をつくる

「障害→苦心→克服」の流れで、ドラマのあるシーンをつくる

障害「問題の発生と課題の明確化」

進学を希望していないから、担任に強く進められる。

苦心「キャラの行動原理を比較させ問題解決の興味を引く」

うちに大学に行くお金はありません。あったとしてと、わたしは働いてみたい。今まで学んだことを生かしたいんです。

担任と母を説得する。

克服「説得力のある変化を結論、結果を答えとして示す」

夏休みに職業体験で広告代理店に行くことで納得してくれる。

2、広告代理店

記者のカバン持ち、編集の手伝い、DTPで入力を体験する。

具体的な内容（200文字～400文字程度）

体験が終わった後、面接で「BBQでは何係？」と聞かれて「友だちとBBQしたことないです」と正直に答えて説教される。

このセクションの、必要性を説明するなら？ 魅力を伝えるなら？

夢が破れた光はどうする？

4W1H

○いつ,when

夏休みに

○どこで,where

広告代理店で

○なぜ,why

職業体験のために

○なにを,what

取材同行、データ作成を

○どうする,how

体験して、面接で適正はデータ作成と言われる

who を配置する

誰を配置する？

光

記者

ドラマ (起伏) をつくる

「障害→苦心→克服」の流れで、ドラマのあるシーンをつくる

障害「問題の発生と課題の明確化」

光は、取材同行で黙って隅っこにいただけ。会話に参加しない。

でも DTP は教えなくても吹き出しの作り方が分かった。

苦心「キャラの行動原理を比較させ問題解決の興味を引く」

記者は秘密を暴いて嫌われるか、親しくなって話してもらうか。

どっちもできないよね？

BBQ では何係しているの？

友だちと BBQ したことないです。

人付き合いが苦手な人は記者に向かない。悪いことは言わないから、性格を変えるか、職業を変えなさい。

克服「説得力のある変化を結論、結果を答えとして示す」

反論できない。

文章が書けるだけではだめなんだ。

3、海水浴 1 節増やした

内容を一言で書く。(登場人物)が(どうなる・どうする)

夏休みにハワイから帰った等が、落ち込んでいる光の元に駆けつける。

具体的な内容(200文字~400文字程度)

クラスメイトを呼んで、等の家でBBQすることになる。
等の両親は、ベランダでコーヒーを飲みながら様子を見ている。

このセクションの、必要性を説明するなら? 魅力を伝えるなら?

彼女であることを公表されて、クラスメイトの状況が変わる。

4W1H

○いつ,when

高3の夏休みに

○どこで,where

海水浴場で

○なぜ,why

水着を選んで買ったので

○なにを,what

海水浴を

○どうする,how

二人です

who を配置する

誰を配置する？

光

等

ドラマ (起伏) をつくる

「障害→苦心→克服」の流れで、ドラマのあるシーンをつくる

障害「問題の発生と課題の明確化」

「DTP なら採用するが、記者では採用しない」と言われて落ち込んでいる光を励ますため、等が海水浴に誘う。

苦心「キャラの行動原理を比較させ問題解決の興味を引く」

等がビキニの水着を選んで、光に試着させる。

「俺だけが見るならいいけど、他の男も見ることだめ！」

露出の少ないワンピースの水着になる。

克服「説得力のある変化を結論、結果を答えとして示す」

一泳ぎして、海の家で食事する。

「友だちと BBQ したことないと言ったら採用されなかった」と聞き、うちでクラスメイトを読んでやろうと提案する。

4、BBQ

内容を一言で書く。(登場人物)が(どうなる・どうする)

等が父に「光さんが欠点を克服するように手伝ってあげなさい」と諭す。それを等が光に言う。

具体的な内容(200文字~400文字程度)

自由にさせてあげたい。
でも別の人生を歩きたくない。
一緒に生きることを最優先にしてほしい。
等は、葛藤を光に告白する。

このセクションの、必要性を説明するなら? 魅力を伝えるなら?

光を好きな理由が明かされる。

4W1H

○いつ,when

夏休みの終わり頃

○どこで,where

等の家で

○なぜ,why

光が次の面接で言えるように

○なにを,what

BBQで串焼きの肉を

○どうする,how

焼く係になる。

who を配置する

誰を配置する？

光

等

クラスメイト

等の父

等の母

ドラマ(起伏)をつくる

「障害→苦心→克服」の流れで、ドラマのあるシーンをつくる

障害「問題の発生と課題の明確化」

クラスメイトが来る前に、光と等が準備していたから、「付き合っているの？」と囁し立てる。

苦心「キャラの行動原理を比較させ問題解決の興味を引く」

等は光を「彼女」と紹介する。

なれそめなど、いろいろ聞かれる。

突然、女子数名が泣きながら「おめでとう」と言う。

光はどうしていいか分からなくて、「ありがとう」と返す。

それを聞いた女子たちは、「急用ができたので帰ります」とみんな去ってしまう。

男子だけになり、光は黙々と串焼きを作る。

ベランダからコーヒーを飲みながら、等の父が見ていた。

克服「説得力のある変化を結論、結果を答えとして示す」

片付けしていると、母親が等に「ベランダで父が呼んでいる」と伝えに来る、

等の母親が来て、片付けを手伝ってくれる。

そして唐突に質問される。

「光さんは、夢と愛、どっちを選ぶ？」

困惑して答えられない光に、母親が言い直す。

「夢を追って一人で生きるか。愛を選んで等と生きるか」

ますます困惑する。

「等のことは好き？」

「はい！」

即答する。

「等は光さんと出会って変わった。名前の通り、等にとって光なのね。闇を晴らす存在」

なんて言えばいいのか、分からずもじもじしていたら、等さんが現れる。

「片付けはあとで俺がやるから、駅まで送るよ」

「お邪魔しました！」

いつもと違う等の張詰めた空気におされて、あとをついていく。

5、提案

内容を一言で書く。(登場人物)が(どうなる・どうする)

等は、光にムーンライトでのバイトを提案する。

具体的な内容(200文字~400文字程度)

好きになった理由。

長所が欠点になってしまうこと。

葛藤していること。

を光に話して、提案する。

このセクションの、必要性を説明するなら? 魅力を伝えるなら?

等から見た光が分かる

4W1H

○いつ,when

BBQのあと

○どこで,where

駅で

○なぜ,why
話をするため

○なにを,what
マックに

○どうする,how
入る

who を配置する
誰を配置する？
光
等

ドラマ (起伏) をつくる
「障害→苦心→克服」の流れで、ドラマのあるシーンをつくる

障害「問題の発生と課題の明確化」

小3くらいから父のカバン持ちで外国に行っていた。ある日、農園の息子が遊ぼうと誘ってきた。父から「カバンから離れるな！」と言われていたのに離れてしまった。

コーヒーの価格に関する極秘文書を盗まれてしまった。うちより僅差で高値をつけたライバル会社が競り落とした。

それ以来、誰のことも信じなくなった。

苦心「キャラの行動原理を比較させ問題解決の興味を引く」

そんな僕に父が、ゼロから友だちを作るように言いつけて、誰も知らない遠い学校に入

学させたんだ。

いつも一人で行動する光さんが気になって、話してみたいって思っていた。

用務員さんへの届け物でラインを交換して、夏休みに遊園地に行けて、僕は本当に楽しかった。

でも光さんには夢がある。僕には家業を継ぐ義務がある。このままだと別れてしまうだろう。それは嫌なんだ。

でも光さんの夢を奪うこともためられる。

さっき父から言われた。光さんの長所は欠点にもなると。影響力をうまく扱えないから。

別れることになっても必要なスキルを身に付けさせてあげなさいって。俺の家族が経営する喫茶店でバイトしてみない？

記者になるために足りないものが手に入るから。

克服「説得力のある変化を結論、結果を答えとして示す」

真剣な等の眼差しに、無意識にうなずいていた。

6、バイト初日

内容を一言で書く。(登場人物)が(どうなる・どうする)

高校生バイトとして、9月から喫茶店「ムーンライト」でバイトをする

具体的な内容(200文字~400文字程度)

政治的ではない光は、何が問題なのか分からない。等に相談する。見に行きたいけど、まだダメと父から止められている。

このセクションの、必要性を説明するなら? 魅力を伝えるなら?

元店長で上司だった真鍋にみんな相談して、北村店長はスルーされている。

真鍋は給仕と飲み物。ホール担当。

店長は料理。キッチン担当。

光はキッチン担当。

バイトはホール担当

4W1H

○いつ,when

8月。高2の夏休み。

○どこで,where

T市(豊橋)の喫茶「ムーンライト 10号店」

○なぜ,why

足りない政治力を身に付けるため

- なにを,what
アルバイトとして
- どうする,how
キッチンで働く

who を配置する

誰を配置する？

光

真鍋

北村

バイト A、高2女子、谷口広子

たにぐち ひろこ

バイト B、高1男子、手代勇気

てしろ ゆうき

ドラマ(起伏)をつくる

「障害→苦心→克服」の流れで、ドラマのあるシーンをつくる

障害「問題の発生と課題の明確化」

社長の推薦と聞いて、詮索される。

しかし、光は等との約束通り何も言わない。

居酒屋でキッチン担当をしていたと聞いて、キッチンで即戦力になることを期待される。

苦心「キャラの行動原理を比較させ問題解決の興味を引く」

1回でやり方を覚えて、即戦力になる。

はい！

はい！

はい！

はい、できてます！

くらいの軽快なテンポで仕事をこなす。

克服「説得力のある変化を結論、結果を答えとして示す」

「優秀だから採用された」と納得して、仲間扱いされる。

7、イベントの企画

内容を一言で書く。(登場人物)が(どうなる・どうする)

真鍋に企画を否定されて、北村が泣いているところを光が見てしまう。
→ただのバイトだから何も言わない。

具体的な内容(200文字~400文字程度)

クリスマスに出す特別メニューで、北村が真鍋にダメ出しされる。

このセクションの、必要性を説明するなら? 魅力を伝えるなら?

バイトだと巻きこまれない!

4W1H

○いつ,when

11月

○どこで,where

喫茶「ムーンライト10号店」

○なぜ,why

クリスマスメニューでもめて

○なにを,what

北村のアイデアを

○どうする,how

真鍋がダメだしする

who を配置する

誰を配置する？

北村

真鍋

光

ドラマ (起伏) をつくる

「障害→苦心→克服」の流れで、ドラマのあるシーンをつくる

障害「問題の発生と課題の明確化」

仕事が終わって、みんなに挨拶して帰る。

ロッカーに忘れ物して戻る。

苦心「キャラの行動原理を比較させ問題解決の興味を引く」

北村店長が、真鍋さんにダメだしされてる。

「全然ダメ。それじゃ去年の焼き増しじゃない。ちゃんと考えているの？」

廊下で真鍋の声にビックリしていると、北村が出てくる。

目を押さえて泣いている？

光に気づいて、「どうしたの？」と聞いてくる。

「ロッカーに忘れ物しちゃって」

「そう。恥ずかしいところ見られちゃったね」

「準備って大変なんですね」

「真鍋さんは元店長で、俺の上司だった人だから、特別に厳しいんだよ」

「そうなんですね」

お辞儀してその場を去る。

克服「説得力のある変化を結論、結果を答えとして示す」

等からラインが来る。

「もしかして、元店長の真鍋さんにみんなが頼って、今の店長が孤立してるのかも？」

「明日、顔を出してみるよ」

8、社長の息子

内容を一言で書く。(登場人物)が(どうなる・どうする)

光が問題が店長の孤立とやっと気づく。

具体的な内容(200文字~400文字程度)

店長の孤立を解消して、一体感あるチームにするための相談を等にする。
「僕の彼女と言えは動きやすくなる。次のシフトの日をLINEしてほしい」

このセクションの、必要性を説明するなら? 魅力を伝えるなら?

光は彼女というとなんかどうなるのか分かってない。等が会いに来てくれることが嬉しい。

4W1H

○いつ,when

翌日の夕方

○どこで,where

喫茶「ムーンライト」で

○なぜ,why

光を心配した等が

○なにを,what

光に会いに来て

○どうする,how

社長の息子の彼女と分かる

who を配置する

誰を配置する？

光

等

真鍋

北村

バイト A と B

ドラマ (起伏) をつくる

「障害→苦心→克服」の流れで、ドラマのあるシーンをつくる

障害「問題の発生と課題の明確化」

学校帰りに、光と等が、喫茶「ムーンライト 10 号店」に客として寄る。

光はカフェオレ。

等はホットコーヒー。

等に気づいた真鍋が対応する。

店長も挨拶に来る。

真鍋も北村も、等が社長の息子と知っている。

真鍋が等に光のことを話す。

「等さんのお友だちだから、社長がすすめたんですね。すごい優秀で助かってます」

何度もうなづく等。

「そうでしょ？ 光さんは、俺の彼女。結婚して将来副社長になる人だよ」

みんなびっくり。

真鍋「どうして隠してたの？」

等「光さんは悪くない。父の命令」

苦心「キャラの行動原理を比較させ問題解決の興味を引く」

バイト A と B がきて、真鍋さんが指示する。

店長を無視して、みんなが持ち場に戻る。

光と等が、目配せする。

克服「説得力のある変化を結論、結果を答えとして示す」

店を出て歩いている二人。

「俺から見ても店長は孤立しているように感じる」

「やっぱり、そうなんだ。3ヶ月くらいバイトしてるのに、全然気づかなかった。自分ができるようになることに夢中で……」

等が、光の髪をなでる。

「次のバイトから、周りの対応が変わって大変になるだろう。光さんなら乗り越えられる。信じている」

光は何が起こるか、分かってない。

首をかしげている。

9、打ち明け話

内容を一言で書く。(登場人物)が(どうなる・どうする)

北村店長が、光に悩みを打ち明ける。

具体的な内容(200文字~400文字程度)

北村はバイトから店長になった。

バイト時代の店長は真鍋さんだった。

真鍋さんは結婚して子どもを持って、バイトに変わった。

後釜として北村さんが指名された。

どうしていいか分からず、真鍋さんに相談しているうちに、バイトも真鍋さんに相談するようになり、決定権を失った。

このセクションの、必要性を説明するなら? 魅力を伝えるなら?

北村に助けを求められて、光は何も言えない。

4W1H

○いつ,when

翌日のバイトの時間

○どこで,where

バックヤードで

○なぜ,why

北村が困っていたから

○なにを,what

決定権を真鍋から取り戻すため

○どうする,how

光を味方につけようとする

who を配置する

誰を配置する？

光

真鍋

北村

ドラマ (起伏) をつくる

「障害→苦心→克服」の流れで、ドラマのあるシーンをつくる

障害「問題の発生と課題の明確化」

土曜日の早朝、準備してる。

光、真鍋、北村がいる。

北村「去年の人気メニューを今年もやって、クリスマスの定番にしたいんです」

真鍋「違うから楽しいんでしょ？」

北村「1年に1度しか食べられないから楽しいんです！」

北村・真鍋「光さんはどう思う？」

北村と真鍋に注目されて、答えることができない。

「おはようございます！」

バイト A の声で中断された。

苦心「キャラの行動原理を比較させ問題解決の興味を引く」

光は休み時間に等に LINE する。

「俺も味方につけようとしたから大変な気持ちは分かるよ。でも対処できないと副社長はもちろん、記者にもなれない。頑張っ！」

克服「説得力のある変化を結論、結果を答えとして示す」

気休めに写真を見返す。

遊園地のメリーゴーランドで馬車に乗った写真が出てくる。

猫又のことを思い出す。

10、遊園地占い師猫又

内容を一言で書く。(登場人物)が(どうなる・どうする)

光が、遊園地に行く。

目的は猫又の占いを受けること。

具体的な内容(200文字~400文字程度)

猫又に人生の課題を教えられる。

このセクションの、必要性を説明するなら? 魅力を伝えるなら?

何をすればいいか、光が気づく。

4W1H

○いつ,when

11月初旬

○どこで,where

遊園地で

○なぜ,why

対応に悩んで

○なにを,what

占いを

○どうする,how
してもら

who を配置する
誰を配置する？
光
猫又

ドラマ (起伏) をつくる
「障害→苦心→克服」の流れで、ドラマのあるシーンをつくる

障害「問題の発生と課題の明確化」

新人バイトの時には意見を聞かれなかったけど、社長の息子の彼女と分かって、意見を聞かれるようになった。どうしたらいいですか？

苦心「キャラの行動原理を比較させ問題解決の興味を引く」

3枚引きで
1 原因、2 結果、3 アドバイス

左 1 悪魔正
原因は理性が働いてない。
エゴの戦い。

真ん中 2 ソードクイーン逆
結果
自己防衛に走っている

右 3 アドバイス
アドバイスは

楽しんでいる場合ではない
真剣に考えて
いい加減な態度はダメ

克服「説得力のある変化を結論、結果を答えとして示す」

猫又が人生の課題について語る。

- 1、落ち着く
- 2、反応を返す

新人バイトとして、自分を認めているだけでよかった。
影響力を持ち、意見を言わなくてはならなくなった。

自分の立場を明らかにして、理由を伝える必要がある。
守ってるだけじゃだめ。
働きかけなくちゃ。
やり取りを恐れない勇気が大事。
間違いを恐れず、話しやすい雰囲気を作るリードの仕方もあるよ。

11、プレゼン

内容を一言で書く。(登場人物)が(どうなる・どうする)

光がみんなの意見を聞いて、企画書にまとめる。チラシのサンプルも作る。

具体的な内容(200文字~400文字程度)

光が、勇気を出して、プレゼンする。

多少の修正は必要だが、採用される。

このセクションの、必要性を説明するなら? 魅力を伝えるなら?

記事を書きたいという光の夢がかなう。

4W1H

いつ,when

遊園地から帰った夜

どこで,where

自宅の机で

なぜ,why

二人の意見を生かすため

なにを,what

チラシを

どうする,how

作成する

who を配置する

誰を配置する？

光

等

真鍋

北村

ドラマ (起伏) をつくる

「障害→苦心→克服」の流れで、ドラマのあるシーンをつくる

障害「問題の発生と課題の明確化」

真鍋の意見も、北村の意見も、一理ある。だから選べない。どっちも生かす方法はな
いか？

等と話す。

光さんがいいと思う方法を A4 一枚にまとめて提案してみては？

苦心「キャラの行動原理を比較させ問題解決の興味を引く」

好評だったメイン「照り焼きチキンサンド」はそのままで、スイーツを刷新して、3つ
から選べるようにするのはどうだろう？

そのアイデアを本部に送るため、手書きのチラシを用意する。

克服「説得力のある変化を結論、結果を答えとして示す」

真鍋も、北村も、アイデアにのってくれる。

北村の責任で、本部に提出することになる。

13、夢の形

内容を一言で書く。(登場人物)が(どうなる・どうする)

光と等が高校を卒業して、ムーンライトに就職する。

具体的な内容(200文字~400文字程度)

光は、ムーンライトのメニューの素晴らしさを伝える記事を書く。
SNS 担当になる。キッチンの手伝いもする。

等は「光さんはどこにいても変わらない」と安堵する。

このセクションの、必要性を説明するなら? 魅力を伝えるなら?

夢の形は変わったけれど、光は納得している。

4W1H

○いつ,when

冬休み

○どこで,where

喫茶「ムーンライト 10 号店」

○なぜ,why

- バレンタインが近いから
- なにを,what
 - HP に記事を書くため
 - どうする,how
- 光がみんなの意見をまとめて、チラシを作っている。

who を配置する
誰を配置する？
光
等

ドラマ (起伏) をつくる
「障害→苦心→克服」の流れで、ドラマのあるシーンをつくる

障害「問題の発生と課題の明確化」

北村「コーヒーにあう一口チョコをコンセプトにしたい」
真鍋「食べるだけでなく、プレゼントもしてほしい」
光「食べておいしかったものをプレゼントする感じですね？」
北村「いいね。売り上げにつながる」
真鍋「チョコの食べ比べができるといいわね」
光「まとめてみますね」

苦心「キャラの行動原理を比較させ問題解決の興味を引く」

光が企画書をまとめている。
等が光に会いに来る。
やりたいことを見つけて打ち込む姿を見て「光さんは、どこにいても光さんなんだね」と安堵する。
光「どういう意味？」
等「やりたいことはなくなるんだね」
光「そうなの！ 今度、占い師の猫又さんに人生の課題についてインタビューしようと思うんだけど、提案してもいいと思う？」
等「いいね！ 面白そう」

克服「説得力のある変化を結論、結果を答えとして示す」

光が、猫又の取材に行く。

修正 4つ

○高3 →高2

○小さい農園と契約するのに、仲良くなった息子が、「最低価格をあげてほしい」という。
→等が影響力を持つ覚悟をした瞬間。
簡単にあげられないことを分かっているのに、どうしたらあげられるか、こちらの希望を伝える。

○ラスト

等「俺の生き方にあわせてくれてありがとう。俺の場所で楽しんでくれてありがとう」
光「こちらこそ、チャンスを与えてくれてありがとう」

○ビキニのペア水着を店員にすすめられる

等「ビキニはちょっと……他の男も見るから嫌！」

等「同じ色のワンピース水着にしない？」

シナリオ

1、三者面談

○学校・全景

校舎の上には、青い空と白い入道雲が広がっている。

光 N「高2 になり、また等さんと同じクラスになり、嬉しかった」

○高校の教室

神崎光 (高2) とその母が、担任と向き合っている。

光 N「夏休み前の三者面談で、わたしも等さんも就職を希望する」
ため息をつく担任。

担任「これだけの成績があるのに進学しないのはもったいない」

光「うちに進学するお金はないですし、何より働いてみたいんです」
資料を見る担任。

担任「夏休みに広告代理店で職業体験をするとあるけど？」

光「はい。記者になりたいくて」

担任が、母親を向く。

担任「お母さんは承知しているんですか？」

母「はい。好きなものを伝えたいから記者になりたいと普段から話してます」
腕組みする担任。

担任「いいでしょう。体験してみなさい」

立ち上がり、光が頭を下げる。

光「ありがとうございました」

母親も立ち上がり、軽く会釈する。

○教室の前の廊下

等と等の母がいる。

お互い、軽く会釈を交わす。

光 N「等さんの家で、彼の両親には何度か会っている。挨拶するくらいで話したことはない。わたしのこと、どう思っているのだろうか？」

等と等の母が教室に入る。

担任の声「お前も就職希望だったよな。家業を継ぐんだって？」

等「はい！」

一瞬、光が振り返る。

光 N「等さんは、夏休みに、お父さんの鞆持ちで、ハワイのコーヒー農園に行くそう。わたしは互いの成功を祈った」

光と光の母が廊下を歩き出す。

2、職場体験

○広告代理店・全景

2階建て木造アパートのような見た目。
玄関の上に「株式会社ビックバン」の看板。
光が制服姿で入っていく。

○広告代理店・制作室

パソコンがたくさん並んでいる。
隅っこに座り、光がマウスで操作している。
イラストレーターという絵を描くソフトで、四角を2つ重ねてロック。間をジグザグに結び、吹き出しを作る。
光「吹き出し作れました！」
男性社員がびっくりする。
男性社員「自分でやり方思いついたの？ 君、すごいね。向いてるよ」
光「ありがとうございます」
光が照れ笑いする。

○自宅(夜)

台所で、光が生姜焼きを食べている。
向かいに母親が座っている。
光「今日、制作で褒められちゃった」
母「よかったね。でも本命は明日の記者体験なんでしょ？」
光が一口食べる。
光「そう。社報に載せる社員インタビューに同行するの」
母「楽しみだね」
光「うん！」
ご飯を食べきり、光が立ち上がって皿を持つ。

○工場・全景

工場の屋根に「ハムの赤松」の看板。

○工場・ライン

真空パックに包まれたハムが、箱に詰められていく。

流れるハムを前に記者が、社員の写真を撮る。

光はどうしていいのかわからず、離れた場所で鞆を持って立ち尽くしている。

○工場・客間

記者の隣で光が、見出しと IC レコーダーの時間をメモしている。

話している社員は見ないで、ずっとレコーダーを見ている。

社員「そんなわけでこの会社に入ったんです」

IC レコーダーを見たままの光に社員が言う。

社員「お嬢ちゃん、俺の話きいてた？」

ガバッと顔をあげて、激しくうなづく。

光「もちろんです！」

メモした見出しを見せる。

記者「そういうことじゃねえんだわ。すいませんね」

首をかしげる光に、記者が言う。

記者「リアクションしない相手は、話づれえんだわ」

ペコペコと光が頭を下げる。

光「すいませんでした！」

社員がまーまーと手振りで許す。

○広告代理店・全景(夕)

記者が建物に入る。

うつむいた光が後に続く。

○広告代理店・客間(夕)

ソファーに向い合わせで座る記者と光。

記者「記者は秘密を暴いて嫌われるか、親しくなって話してもらうか。君は、どっちもできないよね？」

光「そうかもしれないです」

ギリ泣かずに耐えていた光が、意外な質問で驚く。

記者「BBQ では何係しているの？」

光「友だちと BBQ したことないです」

記者がため息をつく。

記者「人付き合いが苦手な人は記者に向かない。悪いことは言わないから、性格を変え

るか、職業を変えなさい」

ショックで光は泣いてしまう。

光 N「文章を書くのが好きなだけじゃ、記者になれないんだ」

3、海水浴

○デパート・水着売場

光と等が手を繋いで入っていく。

歩いているとペア水着のコーナーがある。

色と柄が同じ男女ペアの水着が並んでいる。

しかし、女子用は全部ビキニ。

店員が寄ってくる。

店員「今年、イチオシのペア水着です。いかがですか？」

光がロイヤルブルーのビキニを手にとって、体に合わせる。

光「似合うかな？」

等「ビキニはちょっと……他の男も見るから嫌！」

赤くなる光に、等がロイヤルブルーのワンピースの水着を渡す。

等「こっちにしない？」

光「そうだね」

うなづく光。

○海水浴場・全景

水着に着替えた光と等が、海に入っていく。

○海水浴場・海の家

話ながら焼きそばを食べる光と等。

光「というわけで DTP なら採用するけど、記者では採用しないと言われちゃったの」

等「いろいろ大変だったね」

悲しそうな光がポツリという。

光「友だちと BBQ したことないとバカ正直に答えなければよかったのかな？ でも本当にしたことないし、嘘はちょっと……」

机の上の光の手に、等が手を重ねる。

等「うちの庭で、クラスメイトを呼んで、BBQ しよう。そしたら次は答えられる！」

光「うん！ ありがとう」

光が等の手を両手で包み、うなづく。

4、BBQ

○等の家・自宅(朝)

朝日のあたる大きな2階建て木造住宅。

広い庭には芝生が生えている。

大きなトートバッグを肩にかけて、光が玄関チャイムを押す。

玄関から等が出てくる。

○等の家・台所

光がシンクで、野菜を洗って、カットしている。

等はテーブルで、肉に下味をつけている。

○等の家・庭

バーベキューコンロに光が炭を入れて、等が火をつける。

肉を焼き出すと、クラスメイトが15人ほどまとまってやってくる。女5、男10。

光がいるので、みんな驚く。

男A「なんで神崎さんがいるの？　つきあってるの？」

ニヤリと笑う等が、光の肩を抱く。

女子から悲鳴が上がる。

等「俺の彼女です」

彼女と言われて、光はびっくりする。真っ赤になる。

男A「いつからつきあってるの？」

周りを男たちに囲まれる等と光。

女子たちは少し離れた場所に固まっている。

等「1年の6月くらい。ね？」

光「はい、そうです！」

女子の一人が、突然泣き出す。

鈍い光は、失恋したから泣いていると分からない。

心配して近づく。

女A「おめでとう」

女Aが手を差し出してくる。

光「ありがとうございます」

光は笑顔で握り返す。

女 A が走り出すと、残りの 4 人の女子もついていく。

どうしていいか分からず立ち尽くす。

○等の家・ベランダ

庭の様子を等の父と母が、コーヒーを飲みながら見ている。

○等の家・庭

等が男 A に目配せする。

男 A がうなずき、女子を追いかける。

等「あいつに任せておけば大丈夫だから、光さんは男どもに肉を焼いてあげて。串焼き係ね」

光「はい！」

バーベキューコンロで、光が串焼きを焼き始める。

○等の家・台所

等が、皿を洗っている。

隣で光が、皿をふいている。

等の母が来る。

等の母「ベランダでお父さんが呼んでいる。ここはわたしに任せて、すぐにいきなさい」

等「わかった」

等の母が皿を洗い出す。

そして唐突に質問される。

等の母「光さんは、夢と愛、どっちを選ぶ？」

困惑して答えられない光に、母親が言い直す。

等の母「夢を追って一人で生きるか。愛を選んで等と生きるか」

ますます困惑する。

等の母「等のことは好き？」

光「はい！」

即答する。

等の母「等は光さんと出会って変わった。名前の通り、等にとって光なのね。闇を晴らす存在」

なんて言えばいいのか、分からずもじもじしていたら、等が現れる。

等「片付けはあとで俺がやるから、駅まで送るよ」

光「え、はい！ お邪魔しました！」

いつもと違う等の張詰めた空気におされて、あとをついていく。

5、提案

○駅前のマック・店内

光と等が、向かい合って座っている。

光はアイスレモンティー。

等はアイスのブラックコーヒー。

頬杖をついて、等が光を見つめる。

光「急に黙って、どうしたの？」

手を首の後ろにあて、等が言いづらそうに話し出す。

等「俺は、10歳くらいから父親同行して、ハワイのコーヒー農園に顔見せしてた。向こうにも同じ年頃の子どもがいて、仲良くしてたんだ」

うんうん、光がうなずきながら聞く。

等「フェアトレードで、最低価格を保証して契約をしている。その価格をあげてほしいと息子を通じて俺に言ってきたんだ」

光「どうしたの？」

等がコーヒーを飲む。

等「俺の家は、喫茶店だけじゃなくて、豆の焙煎と卸しもしてるから、1円の違いが何百倍にもなる。うかつにイエスとは言えない」

光「断ったの？」

等が首を横に振る。

等「俺の代でも、良好な関係を作らなくちゃならない。価値を上げる方法を父に聞いて伝えた」

ほっとする光。

光「今も仲良しなんだ」

首を横に振る。

等「仕事になったら好き嫌いで付き合う相手を選ぶことは許されない。俺が好きだから選んだ人は光さんだけだよ」

嬉しいけど、意味が分からない光はきょとんとする。

光「どういう意味なの？」

光が首をかしげる。

等「父の会社は、H市を中心に、T市、N市にある。俺の家があるH市ではなく、光さんの家があるT市の学校をすすめたのは、父なんだ」

光は理由が分からず。

光「なぜそんなことを？」

等「ゼロから友だちを作らせるため。経営者は人脈が命だから」

光を手のひらで指す等。

等「いつも一人で行動する光さんが気になって、話してみたいって思っていた」

光「あの日、助けてくれたのは、偶然じゃなかったの？」

等にウインクされて、光はドキッとすする。

等「話しかけるチャンスを狙ってた。だから用務員さんへの届け物でラインを交換して、夏休みに遊園地に行けて、僕は本当に楽しかった」

等がコーヒーを飲み終わる。

光も紅茶を飲み終わる。

光の手を握り、等が話す。

等「光さんには夢がある。僕には家業を継ぐ義務がある。このままだと別れてしまうだろう。それは嫌なんだ」

光もうなずく。

光「わたしも嫌です」

等「でも光さんの夢を奪うこともためられる」

等が頭を振る。

等「さっき父から言われた。光さんの長所は欠点にもなると。影響力をうまく扱えないから」

光はドキッとすする。

光「分かる気がする」

等「たとえ別れることになっても必要なスキルを身に付けさせてあげなさいって。父が経営する喫茶店でバイトしてみない？」

光「え？」

等「社長の息子の彼女という立場になれば、記者になるために足りないものが手に入るから」

光「はい、迷ったらやることにしてるの！」

等「いいね！」

立ち上がる等。

光も続く。

6、バイト初日

○自宅・自室・ベッド(夜)

布団に入った光が、スマホを見ている。

等からメッセージがきている。

等ライン「明日はバイト初日だね。俺の彼女なのはしばらく言わないで。その方がムーンライト 10 号店の問題が分かるから」

光ライン「はい。問題を解決したら、必要なスキルが身に付くんですよね。がんばります。おやすみなさい」

等ライン「おやすみ。よい夢を」

電気を消して、光は眠りにつく。

○喫茶「ムーンライト 10 号店」・全景

商業ビルの 1F にある木目が美しい落ち着いたある喫茶店。

光が玄関を通りすぎ、ビルの奥に入っていく。

○喫茶「ムーンライト 10 号店」・裏口

光が入ってくる。

北村店長が迎えてくれる。

背の高い 30 歳くらいの男性。

店長「僕は店長の北村です。君が神崎光さんだね。社長の推薦って、親戚なの？」

光「そういうわけではないのですが、居酒屋でキッチンを担当して、盛りつけていたからでしょうか」

真鍋の声「それならここでも盛り付けを担当してもらいましょう」

ホールからふくよかな 40 歳さいくらいの女性が現れる。

店長「そのつもりですけど、決めるのは店長の僕ですよ」

真鍋「はいはい。暇なうちに一通り盛り付けをおしえるから、覚えて」

光「はい！」

元気よく光が答える。

○喫茶「ムーンライト 10 号店」・ホール

青い壁紙に、白い小さな星がいっぱい書かれたメルヘンな店内。
満席で込み合う店内。
コーヒーとサンドイッチを食べてる人が多い。
ケーキを食べてる人もいる。

○喫茶「ムーンライト 10 号店」・キッチン

注文表を差し出す真鍋。

真鍋「レアチーズケーキ 1 つ。生クリーム絞って。できる？」

光「はい！」

冷蔵庫からレアチーズケーキを出して、生クリームを絞って、ホール側に皿を渡す。

光「お願いします！」

真鍋が確認する。

真鍋「よし、合格」

光「ありがとうございます！」

皿を持って、真鍋が席に去る。

○キッチン

真鍋が注文表を持って来る。

真鍋「タマゴサンド」

光「はい！」

手際よく 4 つにカットされた玉子サンドの皿。

真鍋「合格！」

光「ありがとうございます」

皿を持って、真鍋が席に去る。

○喫茶「ムーンライト 10 号店」・全景 (夕方)

夕日を浴びて、輝いている。

○キッチン (夕方)

店長と真鍋と光がいる。

真鍋「1 回で全部覚えた人、初めて。優秀なのね」

光「ありがとうございます」

店長「バイト、短時間でもいいから、長く続けてね！」

光「はい、失礼します」

会釈して、光が帰っていく。

○自宅・自室・机(夜)

スマホを見ている。

光ライン「別に問題なんてなさそう。みんないい人。楽しかった」

等ライン「俺も何が問題なのかは知らされてない。分かったら教えて」

光ライン「はーい」

スマホを充電する光。

光の母の声「ごはんよ～」

光「はーい」

光が部屋を出る。

7、イベントの企画

○喫茶「ムーンライト10号店」・全景(夕)

夕日に赤く染まるビルの前で、光がトートバッグ手を入れ、ビルに戻っていく。

○喫茶「ムーンライト10号店」・バックヤード(夕)

光がロッカーからスマホを取り出し、トートバッグにしまう。

事務所から真鍋の声が聞こえる。

真鍋の声「全然ダメ。それじゃ去年の焼き増しじゃない。ちゃんと考えているの？」

事務所から店長が出てくる。

目を押さえて立ち尽くす。

光に気づいて驚く。

光「ロッカーにスマホを忘れちゃって」

店長「恥ずかしいところ見られちゃったね」

光「準備って大変なんですね」

店長「真鍋さんは元店長で、俺の上司だった人だから、特別に厳しいんだよ」

光「そうなんですね」

お辞儀してその場を去る。

○自宅・自室・机(夜)

光が机に向かってスマホを使っている。

光ライン「もしかして、元店長の真鍋さんにみんなが頼って、今の店長が孤立してるのかも？」

等ライン「明日、父の許可がおりたら、俺が店に顔を出してみるよ」

光「ありがとう」

スマホを抱き締める。

8、社長の息子

○喫茶「ムーンライト 10 号店」・全景

制服姿の光と等が、客として玄関から入る。

バイト A が接客。

光はアイスカフェオレとタマゴサンド。

等はホットコーヒーとシーチキンサンド。

交換して食べている。

真鍋が等と光に気づく。

店長を呼びに行く。

店長「店の様子を見に来られたんですか？」

等「違うよ。学校帰りにお腹が空いたから食べに来ただけ」

真鍋「等さんのお友だちだから、社長がすすめたんですね。すごい優秀で助かってます」

何度もうなづく等。

等「そうでしょ？ 光さんは、俺の彼女。結婚して将来副社長になる人だよ」

真鍋、店長、バイト A と B がびっくりする。

真鍋「どうして隠してたの？」

等「光さんは悪くない。父の命令」

店長「ゆっくりしてってください」

真鍋、店長、バイト A と B が持ち場に戻る。

バイト A と B がきて、真鍋さんが指示する。

まだ店長がいるのに素通りする。

等が、光に目配せする。

○公園・ベンチ(夕)

光と等が、公園のベンチに並んで座っている。

等「俺から見ても店長は孤立しているように感じる」

光「やっぱり、そうなんだ。3ヶ月くらいバイトしてるのに、全然気づかなかった。自分ができるようになることに夢中で……」

等が、光の髪をなでる。

等「次のバイトから、周りの対応が変わって大変になるだろう。光さんなら乗り越えられる。信じている」

光は何が起こるか、分かってない。
光「そうなの？」
首をかしげている。

9、影響力

○喫茶「ムーンライト 10 号店」・バックヤード

ロッカーでエプロンをした光を、店長が呼びに来る。

店長「光さん、ちょっと事務所に来て」

光「はい！」

真鍋と店長が向かい合って、睨み合っている。

北村「だから僕は、去年の人気メニューを今年もやって、クリスマスの定番にしたいんです」

真鍋「お客様の気持ちを全然分かってない！ 毎年、違うから楽しいんでしょ？」

北村「いいえ、1年に1度しか食べられないから楽しいんです！」

北村・真鍋「光さんはどう思う？」

光「わたし？ わたしは……」

北村と真鍋に注目されて、光は答えることができない。

バイト A「おはようございます！」

バイト A の声で、会議は中断された。

持ち場に行く。

真鍋さんとバイト A はホール。

店長と光はキッチン。

○喫茶「ムーンライト 10 号店」・バックヤード

時計は昼の 2 時を表示している。

光は、まかないのタマゴサンドを食べてながら、等にラインしている。

等ライン「俺も味方につけようとされたから大変な気持ちは分かるよ。でも対処できないと副社長はもちろん、記者にもなれない。頑張っ！」

ため息をつく光が、気休めにスマホで写真を見返す。

遊園地のメリーゴーランドで馬車に乗ったツーショット写真が出てくる。

光 N「突然、わたしは遊園地占い師猫又さんのことを思い出した」

スマホを閉じて、タマゴサンドを急いで食べる。

10、遊園地占い師猫又

○遊園地・ゲート前

光が入場券を買う。

ゲートに入っていく。

○遊園地・猫又の部屋

頭に猫耳のカチューシャをした占い師猫又が、光の話を聞いている。

猫又「それであなたは何を知りたいにゃん？」

光「ただの新人バイトの時には意見を聞かれなかったけど、社長の息子の彼女と分かって、意見を聞かれるようになった。どうしたらいいですか？」

猫又「3枚引きで、1原因、2結果、3アドバイスを見てみましょう」

カードを時計回りにシャッフルして、3つの山を作り、1つに戻す。6枚捨てて、7枚目を左から右に横1列に並べる。

猫又「左側の1番目は、悪魔15正。原因を表す。意味は理性が働いてない。エゴの戦い」

光は恐ろしい悪魔のカードにちょっと怖くなる。

猫又「真ん中の2番目は、ソードクイーン逆。結果を表す。意味は自己防衛に走っている」

光は冷たい印象のカードに緊張する。

猫又「右側の3番目はアドバイス。意味は楽しんでいる場合ではない。真剣に考えて。いい加減な態度はダメ」

光は、ガツンと殴られたような衝撃を受けた。逃げられないことと気づく。

猫又「占いの相談の9割は人間関係の相談にゃん。だから占いの世界では、人生の課題を次の2つと考える。聞きたいにゃん？」

前のめりになり、うなずく光。

光「教えてください」

占い師が紙を光に渡す。

紙には

- 1、落ち着く
- 2、反応を返す

と大きく書いてある。

猫又「裏側も見るにゃん」

光が紙を裏返すとさらに細かい項目が書いてある。

1 を更に分けると

1-1 自分について

1-2 相手について

1-3 環境について

になる。

2 を更に分けると

2-1 感情をだす

2-1-1 ポジティブ

2-1-2 ネガティブ

2-2 状況を伝える

2-2-1 自分の状況

2-2-2 相手の状況

になる。

猫又「前に来た時は、おちついてなかったよね？ でもコミュ力高い彼氏が出来て、不安にならなくなった。違う？」

光「わたしのこと、覚えているんですか？」

手を横に振る。

猫又「黒髪姫カットに、黒ぶちメガネは珍しいから、たまたま覚えていただけにゃん。全員覚えているわけじゃないにゃ〜」

猫又の瞳が猫のように光る。

猫又「新人バイトとして、自分を認めているだけでよかった。影響力を持ち、意見を言わなくてはならなくなった。それが辛いにゃん？」

光「はい」

うんうん、猫又がうなずいている。

猫又「影響力を持てば、自分の立場を明らかにして、理由を伝える必要がある。

守ってるだけじゃだめ。

働きかけなくちゃ。

やり取りを恐れない勇気が大事。

間違いを恐れず、話しやすい雰囲気を作る。

そういうリードの仕方もあるにゃん」

猫又が、光に親指を立てて見せる。

光「ありがとうございました。やってみます」
光は 100 円玉を猫又に手渡す。

11、プレゼン

○自宅・自室・机(夜)

机の上に「企画書の書き方」という本が乗っている。

A4のコピー用紙にメモしてある。

A、新しいものが食べたい？

B、1年に1度を繰り返したい？

光 N「どっちが正しいんだろう？」

持ち上げて顔の前に持ってくる。

光 N「どちらかを選ばないとダメなことなのかな？ 両立できないの？」

スマホのメモ帳に打ち込み始める。

○喫茶「ムーンライト10号店」・事務所

店長、真鍋、バイト A と B が揃っている。

4人に向けて、光がプレゼンしている。

光「好評だったメインの「照り焼きチキンサンド」はそのままで、スイーツを刷新して、3つから選べるようにするのはどうでしょう？」

企画書を見ている店長。

店長「いいね。やっぱりクリスマスは鶏を食べたいよね」

チラシを見ている真鍋。

真鍋「定番と新規性を両立させたわけね。悪くないわ」

チラシを覗き込むバイト A と B。

バイト A「かわいい。イラスト得意なんですね」

光「はい。ありがとうございます」

バイト B「HP とかも光さんが担当したらいいんじゃないの？」

光「できたらうれしいです」

店長が、パンッと手を打つ。

店長「僕が責任を持って本部に提案する。ちゃんと光さんの提案というから安心して」

光「お願いします」

頭を下げる光。
光 N「え？ わたしの名前で？」
急に不安になる。
光 N「お客さんが一人もこなかったらどうしよう？」

○自宅・自室・ベッド(夜)

真っ暗な部屋で、光が泣いている。
等からライン電話が来る。
光「はい」
等「全然ライン既読にならないから電話しちゃった。どうしたの？」
声を出して泣き出す。
等「企画書もチラシも見たよ。すごくいいアイデアなのに、どうして泣いているの？」
光「ひっ。ひっ。お客さんが、ひっ。一人も来なかったらどうしようと思って」
等「ハハハハ。責任感が強いんだね。でも最終的に判断するのは父だから、光さんは気にしないでいいんだよ」
鼻をかむ光。
光「でも結婚したら、将来、等さんが判断するんでしょ？」
等「経営者は儲かるけど、リスクも高いからね。急に怖くなったんだね。よしよし」
光「わたし、なんの覚悟も出来てなかった。記者になったら、自分の名前で責任を取るのに」
等「俺は家を継ぐように、最初から責任を取ることに慣らされてたけど、光さんの家はサラリーマンだもんね。だから光さんを俺の人生に巻き込んでいいのか迷っていた」
光「それは、いいけど……」
等「いいんだ！ やったー！」
光が肩を震わせ笑いだす。
光「不思議、等さんと話したら怖くなくなってきた。大丈夫な気がしてきた」
等「やれることはしよう」
光「はい！」
通話を切り、光が布団に倒れ込む。

12、クリスマス

○喫茶「ムーンライト 10 号店」・全景

光が玄関前を通る。

チラシを手にしたお客さんが並んでいる。

思わず笑顔になる。

○喫茶「ムーンライト 10 号店」・キッチン

店長とバイト B がキッチンで働いている。

店長「キッチンはいいから、ホールに出て」

光「はい！」

光がホールに向かう。

○喫茶「ムーンライト 10 号店」・ホール

満席の客間。

客 A 「照り焼きチキンサンドがまた食べられて嬉しい」

客 B 「スイーツが選べて嬉しい」

客 C 「クリスマスは鶏なのよねー」

光 N 「聞こえてくる理由はバラバラ。共通しているのは楽しんでいることだけ。よかった」

○喫茶「ムーンライト 10 号店」・事務所 (夜)

店長、真鍋、バイト A と B、光が、コーヒーで乾杯する。

店長「お疲れさまでした！」

真鍋・バイト A と B・光「お疲れさまでした！」

一口飲み干す。

バイト B 「俺、牛乳ないと胃が痛い！」

光「わたしもミルクほしいです」

笑っている店長。

店長「好きなだけ入れていいよ」

ミルクを入れたバイト B と光が戻ってくる。

店長「光さんが意見をまとめてくれたから、ほんと、ありがとう」

光「お二人が意見を出してくれてたからできたことです」

真鍋「北村店長を見直した」

握手する店長と真鍋。

店長と真鍋を光が見守る。

13、夢の形

○喫茶「ムーンライト 10 号店」・事務所

店長、真鍋、光が話し合っている。

店長「コーヒーにあう一口チョコをコンセプトにしたい」

真鍋「食べるだけじゃなく、プレゼントもしてほしい」

光「食べておいしかったものをプレゼントする感じですね？」

店長「いいね。売り上げにつながる」

真鍋「チョコの食べ比べができるといいわね」

光「まとめてみますね」

光が去る。

○喫茶「ムーンライト 10 号店」・バックヤード

机の上に企画書の本。

スマホに文字を打ち込む光。

等が光に会いに来る。

光「今、企画書とチラシの原案ができたところなの。見て！」

等が紙を覗き込む。

等「いいね」

光「ありがとう！」

事務所に行こうとする光の手首をつかむ。

等「俺の生き方にあわせてくれてありがとう。俺の場所で楽しんでくれてありがとう」

光「こちらこそ、チャンスを与えてくれてありがとう」

くっしゃっと等が微笑む。

等「俺と生きても、やりたいことはなくなるんだね」

光「そうなの！ 占い師猫又さんに人生の課題についてインタビューして、会社の HP に載せたいの。提案してもいいと思う？」

等「いいね！ 面白そう」

光「ほんと！ 一緒に行く？」

考え込む等。

首を横に振る。

等「光さんに任せる。経費は会社に請求して。領収書もらってきて。俺が会社に話をつけておくから」

光「はい！」

光がニッコリ微笑む。

○遊園地・全景

光がゲートに入っていく。

「ザ・恋愛結婚への道 02光、等に紹介される」概要からシナリオまで20241004

著 ELYE

制作 Puboo
発行所 デザインエッグ株式会社
